

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成21年 1月 16日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0172902280		
法人名	有限会社 環境設備		
事業所名	グループホーム プランタンⅢ		
所在地	旭川市9条通16丁目24 (電話) 0166-25-0010		
評価機関名	(有)ふるさとネットサービス		
所在地	札幌市中央区北1条西5丁目3 北1条ビル3階		
訪問調査日	平成21年 1月13日	評価確定日	平成21年3月11日

【情報提供票より】 ( 20年12月19日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 17 年 7 月 15 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤 8人 非常勤 8人 常勤換算	7.3人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート造り	
	1階建ての	1階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	15,000円	その他の経費(月額)	円
			円
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		1,200 円

### (4) 利用者の概要 ( 12月19日現在 )

利用者人数	18名	男性 2名	女性 16名
要介護1	5名	要介護2	5名
要介護3	3名	要介護4	5名
要介護5	0名	要支援2	0名
年齢	平均 82.6歳	最低 65歳	最高 96歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	旭川ペインクリニック、東郷整形外科医院
---------	---------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームの一番の特徴は、1カ月の入居料が1万5千円と低廉な事です。この入居料に介護保険自己負担分と食費などが加わり合計が7万7千円台に抑えています。これは利用者の経済的負担を考慮した運営者のポリシーでもあります。ホーム建設時にも、建物に大きな投資を行わず、造作で、できるところは運営者と職員で作上げた経緯も理解できます。このようにして作り上げたホームでは、利用者の「その人らしく・・・発見、受入れ、そして共生」をケア理念として掲げながら、職員の弛まざるサービスの提供と支援が続けられています。利用者の笑顔が自慢と言う職員の言葉も理解できるホームであり、これからの発展に期待したいと思います。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の課題への取り組みは、施設長を始めとする職員の努力の成果が表れ、9項目の内、5項目の改善が見られ、ほかの4項目についても引き続き取り組む姿勢が見られます。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>今回の自己評価では、職員の異動などの事情が重なり、職員全員が参加した評価の作成とはなっていません。今後は職員全員が日常のサービスについて振り返りながら、気づきを認識する良い機会となるよう望みます。また、従前にも増して自己評価及び外部評価での課題に対する果敢な取り組みを期待します。</p>
	②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>会議は、メンバーにかかりつけ医の参加をいただき、医学面でのアドバイスが語られるなど、会議のグレードを高めています。また、家族への参加呼び掛けにより比較的多数の参加が見られます。家族の代表に限定せず、より多くの家族の参加をいただき理解を求める姿勢は、情報の伝達ばかりでなくホームの運営に参加していただく効果もあると思慮します。これからもメンバーを柔軟に迎えながら、魅力ある会議の運営が期待されます。</p>
重点項目	③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族からの意見・要望や苦情は、家族の来訪時の会話を通じて、うかがうことが多く、また、運営推進会議で多くの家族に出席していただき、意見などを聴取する機会を作るなど、ホーム運営に参加していただきながら、改善に向けた取り組みが行なわれています。</p>
重点項目	④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>三つの中学校が行なう職場体験学習や福祉体験学習に協力しながら、生徒と利用者の交流は広がりを見せていますが、近隣の住民との交流は、職員が必要性を十分に認識しているものの、未だ十分ではありません。ホームも利用者も地域の一員であること、また、災害時の協力体制を考慮しながら、今後も町内会、商店会など地域との付き合い、連携を深める取り組みを期待します。</p>

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	前回の評価で取り組みの課題であった運営理念は、家族と職員に諮りながら「地域に開かれた支援への取り組み～」が盛り込まれた新しい理念となり、ホームページや運営推進会議でも紹介されています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	新しく作られた運営理念とともに「ケア理念」は日々の業務の中で、職員全体で確認し合いながら、サービスの向上に向けた取り組みが行なわれています。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	近隣の中学校の文化祭や運動会に招かれるほか、三つの中学校が行なう職場体験学習や福祉体験学習に協力するなど、生徒との交流は盛んに行なわれていますが、ホームを取り巻く住民との交流では、未だ十分ではありません。	○	散歩時の住民との交流は地域で暮らす利用者にとって心が豊かになる要因ともなり、また、災害時における協力体制の確保には地域住民の協力が不可欠であると思慮します。地域との付き合いについて、ホームとしての積極的な働きかけを今後期待します。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	今回の自己評価の作成では、職員の異動などの事情により、管理者と介護主任の間で作られ、職員全員による個々のサービス評価とはなっていません。	○	自己評価は運営者のもとより、管理者、職員全員が、評価の意義について十分に理解し、日常的に提供されるサービスについて、振り返りや気づきを認識する良い機会と捉える必要があります。自己評価や外部評価で明らかとなった改善項目への共有と果敢な取り組みを期待します。

旭川市 グループホーム プランタンⅢ

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議では、かかりつけ医もメンバーとなつて、医療面からのアドバイス、また、気づきの発言、また、家族の質疑なども議事録には記載がされており、ホーム運営が適切に行なわれる取り組みがされています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市で企画された講習会などへの参加はあるものの、担当窓口との係わりや連携の面では十分とは言えません。	○	市の担当者からの呼びかけではなく、ホームからの積極的な働きかけにより、連携をとりながら、サービスの質の向上を図る必要を感じます。昨年4月に市が新たに窓口を設けた「介護119番」を活用するなど、積極的な連携を図る取り組みを期待します。
<b>4. 理念を实践するための体制</b>					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	施設長が作成し毎月送付される「ホームからのお知らせ」はとても読みやすく家族に好評です。また、担当職員による利用者の様子も細やかに伝えていきます。金銭管理の報告書も毎月送られています。健康状態に変化がある場合は電話による報告をしています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族からの意見や要望、また苦情は来訪時の会話を通じて何うことが多く、また、運営推進会議へは多くの家族の出席をお願いして、意見や要望などをいただくように努めながら、ホームの運営に反映させています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	運営者はできるだけ職員の異動を避けるように心がけていますが、系列ホーム内の異動もしくは退職などの際には、ベテラン職員によるフォローにより、利用者への影響を最小限に抑えるよう努めています。		

旭川市 グループホーム プランタンⅢ

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人職員研修は、経験豊かな職員が担当して、利用者との馴染みを第一に考えながら、教育することにしています。また、外部研修へも参加の機会を多くしながら、職員のスキルアップに努めています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	系列ホーム内での訪問、交流によるサービスの向上に努めています。系列ホームの管理者会議による情報交換や課題への協議も行なわれ、系列ホーム全体のレベルアップを図るようにしています。また、近隣のほかの業者のホーム見学など、交流を行ないながら職員の意識改革に努めています。		
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居を前にしての面談では、必ずホーム見学をしていただき、利用者及び家族が納得して馴染みの暮らしが出来るかを見極めていただいています。また、既に暮らしている利用者とも馴染めるよう、雰囲気作りに配慮しています。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	ゲームやカラオケなどでは、新人職員が利用者から教わる場面が多く、共同作業を通じた和やかな笑顔で、支え合う関係が築かれています。職員は利用者との暮らしの中で、同じ目線で行動し、互いが支え合う関係作りに努めています。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の思いや意向をできるだけ正確に把握するため、職員は利用者とのコミュニケーションを大切にしています。また、介護記録を家族に開示しながら、意向把握に協力していただくよう努めています。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	職員の日常のアセスメントやモニタリングを中心にした介護計画が作られています。家族の意見や要望も計画に反映されるよう協力を求めています。介護支援専門員の適切な助言や指導により、利用者と家族が満足できる計画作りをしています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	入居当初は、暫定的な計画により逐次見直しを行ないながら、利用者本位の計画作りが行なわれています。通常は3ヵ月と6ヵ月の見直し期間を設けていますが、利用者の状況変化に対しては利用者、家族、また、医師、看護師の助言の下に介護計画の見直しが行なわれています。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者及び家族の状況を踏まえ、病院への送迎、手芸展への出品と同行介助、特別な買物、銀行、野球観戦など、ホームの有する多機能性を活かした支援が行なわれています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医の定期的な受診のほか、契約看護師による週2回の訪問の際に相談と指導を受けるなど、関係を密にしながら、適切な医療が受けられるよう支援が行なわれています。また、週1回の施術サービスも機能回復に効果を上げています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	「重度化した場合における対応に関わる指針」が作られており、入居の際には説明と同意をいただいています。また、状態の変化には家族、医師、看護師の相談ができるよう方針の共有ができています。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は、利用者に対し経験豊かな先輩として対応することを心がけて、優しい言葉かけなど、尊厳やプライバシーには特に配慮しながら、サービスの提供、支援を行なうこととしています。記録の取り扱い、個人情報にも細心の注意を払っています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホーム内では、大まかな一日の流れが決められていますが、利用者一人ひとりの暮らしを優先しながら、ゆったりとした時間を過ごしていただいています。		

旭川市 グループホーム プランタンⅢ

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理の下拵え、テーブル拭き、食器洗いや後片付けなど、できるだけ利用者には参加していただき、食事が楽しくなるよう配慮しています。食事中は職員の誘導で、会話が弾む楽しい時間となっています。車椅子での食事をできるだけ避けて、みんなと同じ椅子に座って食事ができるよう支援が行なわれています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	介助を必要とする利用者の入浴は、週2回以上と定めて支援されているほか、希望に沿って随時入浴が可能としています。利用者の状況を午前中に把握しながら、午後入浴を勧めるほか、清拭、シャワー浴も併せて行なうなど支援が続けられています。		
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者には、自力の誘発のために色々な仕事をしていただき、ストレスの発散に役立てるよう配慮しています。居室の掃除、洗面所や共有スペースの掃除、洗濯物干し、カーテン閉めなどのほか、散歩を兼ねた買物、手芸、塗り絵など、楽しみごと盛んに行なわれています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的な散歩に加え、系列のデイサービスが所有する車両を利用したドライブや外食、買物ツアーなどが行なわれ、ホームでの閉じこもり防止に配慮がされています。現在、日常的な散歩を増やすなどの検討が行なわれています。		
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	以前に発生した度重なる離設行為への対応のため、玄関の施錠が日常的に行なわれています。利用者の安全が優先されての処置であり、鍵をかけることへの弊害も考慮されていますが、現在のところやむを得ない状況です。	○	リスクマネジメントからセイフティマネジメントへの発想の転換も必要と思慮します。離設行為の原因を探りながら、利用者のストレスの軽減を図るなど、様々な試みにより鍵をかけない取り組みを今後期待します。

旭川市 グループホーム プランタンⅢ

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害に対するホームとしての認識は感じられますが、これまでの避難訓練が年に1回の実施のみとなっており、地域の方々への働きかけも十分ではありません。	○	災害に遭遇した際には、マニュアルだけでは対応が不十分であり、日頃から実践訓練による準備が大切であると思慮します。夜間を想定した避難訓練、また、救急救命の訓練などを重ねながら、万全の取り組みを今後期待します。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日系列ホーム内の食事部会が献立を作り、栄養バランスを考慮して進められています。食事量や水分摂取量は、常にチェックされて職員が利用者の状況を把握しながら、適切な支援が行なわれています。		
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関内には、利用者が集う写真が飾られ、訪問の家族の目を奪う工夫があります。共用部分はコンクリートに暖かい色でペイントが施されており、季節の飾り物がアクセントをつけています。二つのユニットとも1階のワンフロアにあり、利用者の交流も可能な造りとなって、居心地良い空間となっています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族の協力をいただきながら、利用者は馴染みの生活用品を持ち込んでいます。居室は十分なスペースがあり、ゆったりと過ごせる空間となっています。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。